

校長室だより

(川内中学校／R6.6.4)

～ 学びあい・支えあい・笑顔で・未来に向かって挑戦！～

【Study Support Smile 3S チャレンジ！】

H2O 「Homete (ほめて) ・ Hagemashi (励まし) ・ Otagaini (お互いに)」

【学校教育目標：一人ひとりを大切に 未来を生き抜く力を身につけた生徒の育成】

川内中 3S チャレンジ！／美しいものに感動する心を忘れないで～自然の変化に興味を持ち楽しもう～

季節も移り変わり 6 月に入りました。校内には 6 月を象徴する自然があふれています。そんな中、川中生は、日々の授業を真剣に取り組み、放課後の部活動では、県総体めざし練習に熱が入る生き生きとした姿が見られます。日々学びを深め、仲間と支えあい成長している生徒の皆さんは輝いています。何事にも一生懸命に取り組んでいる姿は感動をもたらしてくれます。そして、川中生の日々の活動を見守ってくれている川内中学校内には美しい自然がいっぱいです。そんな自然の変化から感じる思いを綴ってみました。



川内中のシンボル「睡蓮」の花が、今年も咲きました。

【輝け川中生！ 睡蓮(すいれん)の花言葉のように…】

【睡蓮(すいれん)の花言葉より】

睡蓮の花言葉は、花の色によって様々で、「純粹」「信賴」「優しさ」「全てを包み込む太陽のような元気さ」と書かれていました。川内中には現在、白・黄・ピンクの睡蓮の花が咲いています。この花言葉のように、「純粹な気持ちで」「仲間や先生方と信賴関係を築き」「優しさを大切に」「全てを包み込む太陽のように元気よく」様々な活動に取り組んでほしいと思います。

【美を感じる心や美を表現する力は 人間の持つ素晴らしい能力】

美を感じる心を豊かにするためには、たくさんの「いいな・きれいだな」を見つけ楽しむことだと思います。身近な草花・自然の変化・季節の移り変わり・生命の尊さ・強さ・はかなさなど、生活の中で何度も美しさに感動することが美を感じる心の栄養となり、人生を豊かにする宝物となります。日本には四季があり自然の変化や事項に好奇心を持ってほしいと思います。そして不思議に思ったことを尋ねたり確かめたり調べたり、たくさんの気づきや納得が生まれます。すると、何気なく過ごしていたことが新たな見方や考え方で捉えられるようになり、日々の生活がより楽しくなってきます。皆さんも、身の回りの自然の変化に目を向けてみましょう。



体育館下・北校舎花壇に咲く紫陽花

見えないものの大切さに気づこう！ / 心を磨き 行動できる 川中生！

～ 「心」「思い」は見えないけれど 「心遣い」「思いやり」は見えます ～

「心」や「思い」をあたたかい「かたち」にする「言葉や行為」を広げよう！

自然の変化を通し、私たちは自然界の植物から多くのことを学んでいると感じます。そんな中で感じることを伝えたいと思います。植物の体の中で一番大事な部分はどこだと思いますか？

「葉」は、食べられたり、むしられたりしても、それが原因で枯れることはありません。「茎」が折れてもそこからまた新しい芽がでます。しかし、「根」がとられたり、むしられたりすると、ほとんどの植物は枯れてしまいます。つまり、「根」は植物にとって必要な水や栄養分を土の中から吸い上げる役割があるため、「根」がないと多くの植物は生きていけません。植物にとって「根」はとても大切なものです。その大切な「根」は土の中にあって見えません。でも実は一番大事なもののなのです。

中学生の時期は、植物で言う「根」を育てる時期だと思います。雨風にも倒されることなく、そして、たくさんの幹や花を咲かせるためには、太くて幅広い「根」が必要です。様々な経験を積んで、人として大きくなるために…様々な分野での可能性を伸ばすために…土台作りをしっかりとする時期を大切にしたいと思います。

また、「見えないものの大切さ」にも気づいてほしいと思います。人間も同じで、外見だけでなく、もっとも大切なのは「心」だと思います。「心」は目に見えません。見えないけど何より大切な「心」に気づいてほしいと思います。

「心」は誰にも見えないけれど「心遣い」は見えます。「思い」は見えないけれど「思いやり」は見えます。つまり、「思い」や「心」をあたたかい「かたち」にする「言葉や行為」を広げてほしいと思います。「あたたかい心」が「あたたかい言葉や行為」になり、「やさしい思い」が「やさしい言葉や行為」になる時、それは、人が人と支えあう上で大事なことだと思います。忘れてはいけないことだと思います。川内中の皆さんの心の中には、あたたかくて純粋な思いやりの心があると思います。その思いを見える形で「言葉や行為」にして、お互いに伝えあってほしいと思います。

～校内には「あたたかい言葉・やさしい言葉の大切さを示したメッセージ」がたくさん掲示されています～

「人間は言葉を使い、心や思いを心遣いや思いやりという見える形で行為に表せる」

【上手に口・耳・目・手足・心を使おう！】

(口は、人を励ます言葉や感謝の気持ちを言うために使おう)

(耳は、人の言葉を最後まで聞いてあげるために使おう)

(目は、人のよいところを見るために使おう)

(手足は、人を助けるために使おう)

(心は、人の痛みがわかるために使おう)

～腰塚勇人「命が喜ぶ5つの誓い」から～



やさしい言葉には
やさしい心が
あたたかい言葉には
あたたかい心が
ていねいな言葉には
思いやりの心が
きつとたくさん
詰め込まれて
いるのだろう

～川内中・南校舎 4 階の掲示物より～